

今月の主な内容

2面：関大生、大麻所持で逮捕
8面：フットサル特集
10面：全日本大学野球選手権大会



神戸大学ニュースネット
NEWS NET

©神戸大学ニュースネット委員会 http://home.kobe-u.com/top/newsnet/index.html
関西学生報道連絡共同編集室 〒532-0011大阪府淀川区西中島3-21-9-502
電話06-6307-1315 FAX06-6307-1316 メールnewsnet@kobe-u.com

しらすな会
軟式・硬式ピッチングマシン貸出無料!
体育館・野球場・テニスコート・その他手配万全!
南紀白浜サークル
合宿情報

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町2525-4
電話0120-53-1662
http://www.shirasunaclub.jp/

本紙のみの特典あり!

7月号

「委員長、続けていきたい」 灘チャレンジ 今年で14回目



神戸大学学生震災救援隊のメンバーが中心となってつくる市民祭「灘チャレンジ2008」が6月1日、都賀川公園で行われた。ステージではテーマに合わせた様々な企画が行われ、祭りを盛り上げた。

平成7年1月17日午前5時46分に発生した阪神・淡路大震災から13年の時が過ぎた。震災の傷跡を残す建物は見られなくなったが、今もなお市民の心には震災の記憶が深く残っている。しかし、神戸市内でも震災を知らない世代の数が多くなり、風化の危機が迫っている。

震災を忘れないように、次の世代へつなぐ、思いを継いで行われている。今年もつなぐをテーマに、多くの来場者が訪れ、実行委員らは活動を説明していた。ブースで話しをして、頼政良太さん(理3年)は震災の体験者から「教えることより、教えられることもあります」とは笑う。

今年で14回目を迎える灘チャレンジ。震災で被害を受けた。この祭りを存続させるため、救援隊は市民とともに震災の記憶を発信していく。

【西田健信】



会見で陳謝する保健学研究科長の石川雄一教授(手前)ら(6月18日・神戸大本部庁舎で。撮影=濱田直毅)

採血器具使いまわし 医学部保健学科

神戸大は医学部保健学科の演習や学園祭で、平成9年7月から今年1月までの間に、約2000人に血糖値測定用の採血器具を使い回していたと6月18日に発表した。針は一回の使用後に交換されていたが、学内の調査委員会によると、検査技術科学専攻と看護学専攻の演習では約1000人の学生が採血器具を使い回していた。各器具は呼ばれている保健学科の学園祭でも、体育館に設置された検査技術科学専攻を介するブースで、学生や一般来場者など延べ約960人が採血器具を使い回していたと考えられている。それぞれ担当教員はついていないが、誰も複数人への使用が禁止されていることを認識していなかった。

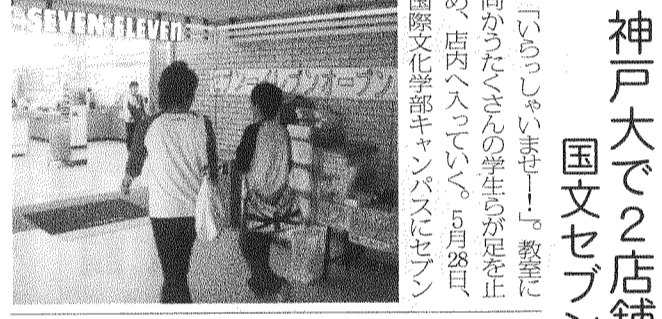
取り扱い説明書を使い回しは禁止されており、厚生労働省は平成18年3月に同様の通知を神戸大に対して行っていた。

保健学研究科長の石川雄一教授は「血液を取り扱うことにおいて、指導体制と管理体制に不備があったことを認めない。取り扱い説明書の記述を見落としていた」と陳謝した。担当教員らの処分については今後検討するという。

神戸大は専用の電話相談窓口を保健学研究科健康管理室内に設置。採血係者や一般市民からの健康相談を受け付ける。希望者には無料で肝炎検査などを実施する。平日の午前10時から午後4時まで。電話番号は078-796-4549。

【濱田直毅】

「セブイレ」がオープン



「いらっしゃいませー」。教室に向かうたくさんの学生が足を止め、店内へ入っていく。5月28日、国際文化学部キャンパスにセブイレがオープンしている。「夜も開いて便利」と学生らの評判も高い。そのほか、国食改修に合わせ、文キャンパスでも出店が決まった。「学生に楽しく満足してもらえ、これからアンケートなどで学生の要望を取り入れていく予定」という。学生第一号となった慶応大学は「結構ゆとりしている。これからも来たい」と話していた。

営業時間は午前8時〜午後8時。

神戸大で2店舗目 国文セブンでいい気分♪

セブイレが開設した。セブイレは工学部キャンパスに平成19年4月から神戸大1号店をオープンしている。「夜も開いて便利」と学生らの評判も高い。そのほか、国食改修に合わせ、文キャンパスでも出店が決まった。「学生に楽しく満足してもらえ、これからアンケートなどで学生の要望を取り入れていく予定」という。学生第一号となった慶応大学は「結構ゆとりしている。これからも来たい」と話していた。

営業時間は午前8時〜午後8時。

アカペラグループ集結 KAJa!2008 京都で開催

第11回関西アカペラコンボリー「KAJa!2008」が5月17日、京都駅ビル大階段で行われた。応募総数102組中16組とゲストバンド2組が出場。神戸大アカペラサークル「Ghana Ghana」からは3組が出演した。オープニングを飾ったのは男声6人バンド「Rockapella」の曲を演奏した。例年以上の観客を前に「お客さんと一緒になったい」と話した。

「明音」は日本語の恋愛の曲を中心に歌う混声5人バンド。吉里の「オリーブ」を聴きながら静かなバラードで会場を包み込んだ。「緊張した」と佐々木静香さん(法・3年)は話したが、賞賛とした歌声で観客を魅了した。

【伊崎春樹】

学業優秀者18人が表彰

法、経済、経営の学部・研究科と国際協力研究科で、昨年度の学業成績が最も優秀だった学生の顕彰を行う「凌雲賞」の第1回授与式が5月23日、六甲台キャンパス第1学舎で催された。同賞は神戸大学六甲台後援会の創立50周年を記念する事業として創設され、今回は18人の学生が選ばれた。

不思議な島と「こども」達はちの巣座6月公演

5年振りに外部公演として復活した、演劇研究会はちの巣座の6月公演「こども」が6月15日から17日まで六甲台講堂で行われた。

ある島で、薬物の使用と催眠療法により「こども」が返ってストレスから解放されるという治療が行われていた。しかし、患者のこどもたちが人のたわいない「あそび」が恐怖を引き起こす。

今回演出を務めた、えささ317号さん(梅花女子大)は「以前『こども』の1生を見て感動し、自分も演じることにした」と話している。詳細は学劇王HP(http://gakugaku.net/)【新田理絵】



「Rockapella」のコピーで会場を盛り上げた「R-gray」(5月17日・京都駅ビル大階段で。撮影=伊崎春樹)

学劇王予選が始まる

関西の学生劇団による演劇コンペ「学劇王」の予選が6月中旬から行われている。予選には神戸大の2チームを含む、4大学6チームが参加。7月上旬に本選に進む3チームが発表される。本選は精華小劇場で8月19・23日に、結果は24日に発表される。代表の川本航平さん(工・4年)は「関西の学生演劇を今よりもっと面白くしたい」と話している。詳細は学劇王HP(http://gakugaku.net/)【新田理絵】

すまじつ努力する所存であります。【濱田直毅】

各研究科の博士課程後期課程に属する成績優秀な院生には、100万円以内の海外派遣支援が行われる。7月に希望者の中から数人が選ばれる予定。【濱田直毅】

伏流水

6月14日、岡田監督率いるサッカー日本代表がアジア地区最終予選への切符を手にした。アジア地区3次予選第5戦、日本代表が3-0でタイに勝ち、バーレーン対オマーンの試合が1-1の引き分けに終わったため、最終戦を待たずして最終予選進出が決まった。進出が決まり安心ではあるが、何かすっきりしない。一つの大きな要因は第4戦、対オマーン戦でのFW大久保嘉人(ヴィッセル神戸)の一発退場だろう。大久保は相手GKと交錯した後、GKを審判の目の前で蹴りレッドカードをもらってしまった。今後は大久保の代表招集に賛否両論がある。大久保の行為は反スポーツ行為であり反常なべきである。しかし、私は大久保をこれらも代表に招集すべきだと思う。大久保嘉人は日本代表にとってなくてはならない存在である。彼の闘争心、ボールを最後まで追い続ける姿勢は代表の中でも突出している。彼は勝利への必死な姿をどんなに泥臭くても隠すことはない。そんな姿が苦しい時の日本代表を救うのではないだろうか。私はよくも悪くも熱い男。大久保嘉人の活躍に期待し続ける。【寺島翠美】

一週間、購読無料。

この機会に新聞を
読んでみませんか?
いまなら一週間お試し
キャンペーン実施中!

http://www.asa-takaha.com

朝日新聞ご購入のお申込みは

ASA 高羽

☎ 0120-084013
神戸市灘区土山町1-13
※但し灘区内在住の方に限ります。

男子ラクロス プライド初制覇逃す

京大に連覇許す

春季トーナメント決勝



勝ち越しゴールを決められ、うなだれるDF田中博之。(6月22日・舞洲運動広場で撮影＝西田健悟)

男子ラクロス春の最高峰である「プライド」トーナメントの決勝戦、神戸大―京大が6月22日、舞洲運動広場で行われた。初優勝を狙う神戸大は前回王者である京大相手に序盤は粘りのラクロスを展開するも、試合後半には実力の差を見せつ

けられ、4―9(第4Q途中、雷雨で試合終了)で敗れた。先制点を奪い、その後相手にもペースを握らせなかった前半。必死に失点を防ぐ守備陣に心をこらそうに、攻撃陣も主将のA田中陽(経済・4年)を中心として果敢に京大サイドへ攻め込み、一進一退の攻防を展開した。

しかし1点ビハインドで迎えた第3Q以降、京大守備陣の前に逆転を狙う攻撃陣が沈黙。逆にカウンターから失点を次々と許し、差を広げられる。

試合開始直後から降りだし、次第に激しさを増した雨も神戸大には味方せず、最後は第4Q途中、大差のまま雷雨による試合終了となった。

「勝てないほどではなかったけれど、(京大との間に)確かに実力の差があった」と田中陽主将は振り返る。攻撃陣が強固な京大DF陣を崩しきれなかった。

34年ぶり8強

西日本学生選手権

男子バスケット部

男子第8回西日本学生バスケットボール選手権大会5回戦、神戸大―近大が5月29日に大阪府立体育館で行われた。神戸大は昨年の関西学生リーグ王者・近大を圧倒。90―58で下し、同大会で34年ぶりにベスト8へ進出する快挙を達成した。

開始直後は近大にリードを許したが、「近大は決まったフォーメーションでしか動けない簡単な攻めだった」と松宮監督。マンツーマンで相手に張りつぎ、内側を堅守。G堀江(理・4年)の3点シュートなどで徐々に逆転すると、後半開始後、一気に突き放した。SG西田(国文・4年)はオフエンズリバウンドを捕球し、ゴール下から再三シュートを決めた。

「みんな一生懸命練習してきた。この子たちは本当にすごい」。松宮監督は選

手を手放して称賛した。コートにいる5人が、一つのリバウンドボールを全力で捕球し、一つのオフエンズを組み立てる。怪我や授業の関係で、試合に出場できない選手の方も控え選手が活躍する。まさにチーム一丸となった全員バスケットで勝ち上がった。

「今年が史上最強の神戸大だ」と松宮監督は満足気に話した。



再三にわたってシュートを決めたSG西田。(5月26日・大阪府立体育館で撮影＝濱田直毅)

たことを、この試合における最大の要因と位置づけた。それでも初めてとなるプライドトーナメント決勝までの道のりは、決して無意味なものではなかった。特に準決勝、大差との一戦は同点のままリシューント対決までもつれ込む大接戦の末の勝利。2、3年

生も多く出場する若いチームにとって、この戦いで得た経験は大きな財産となった。2ヶ月後に迫った秋季リーグ戦に向け、課題はパスやシュートといった基礎能力(田中陽)。この春の経験が武器になって、リーグ全勝優勝へ神戸大が突っ走る。【塚本京平】

雨にファンブル続出

アメフト SRC神戸に敗北

アメフト SRC神戸に敗北。アメフトを多くの人知ってもらおうと、アメフトファンブル部が主催する「神戸大学アメフトボールデー2」が6月22日に王子スタジアムで開催された。神戸大と社会人チームのSRC神戸が対戦。試合は雨の中行われ、神戸大は13―24で敗れた。

雨が降る中、神戸大のミスが続く。4点を追う第2Q中盤、敵陣46ヤードからの第4ダウン。スナップされたボールをP種田(経営・2年)がファンブルし、20ヤードのロスをした。攻撃陣がSRC神戸に移ると、そのままTDへ。

「あの7点が痛かった」と主将の香山(法・4年)。フィールドには大きな水溜



雨の中、相手DFに突進するQB大原。(6月22日・王子スタジアムで撮影＝伊崎春樹)

まがで、さらに雨は強くなった。その後、QB大原(経済・4年)もボールが手につかず、再三ファンブル。加えて、体格が大きく

自分がうっむきかげんでやってしまった。大原はこの日の神戸大は集中力を欠いた。ミスが原因でリードを広げられ、社会人の前に屈した。

「アメフトは、さらに雨は強くなった。その後、QB大原(経済・4年)もボールが手につかず、再三ファンブル。加えて、体格が大きく

自分がかうつむきかげんでやってしまった。大原はこの日の神戸大は集中力を欠いた。ミスが原因でリードを広げられ、社会人の前に屈した。

自分がうっむきかげんでやってしまった。大原はこの日の神戸大は集中力を欠いた。ミスが原因でリードを広げられ、社会人の前に屈した。

自分がうっむきかげんでやってしまった。大原はこの日の神戸大は集中力を欠いた。ミスが原因でリードを広げられ、社会人の前に屈した。

自分がうっむきかげんでやってしまった。大原はこの日の神戸大は集中力を欠いた。ミスが原因でリードを広げられ、社会人の前に屈した。

フットサル学生選手権

神戸大ダービーに圧勝

フォルサ、関西予選進出

フットサル学生選手権大会兵庫予選が6月8日、北神戸田園スポーツアリーナ

で行われた。神戸大からはフォルサがレイラが参加。神戸大ダービーではフォルサが11―0で勝利し、リーグ1位で兵庫予選突破を決めた。

11―0。それがフォルサとレイラの間にある実力差なのか。フォルサがレイラを完膚なきまでに叩きのめした。

前半から圧倒的にフォルサが攻めた。着実にゴールネットを揺らし、あっという間に大差得点差をつける。「結果をちゃんと出せば、内容もついて

「フットサルの普及振興のために、全国制覇したい」と中山(経営・3年)が満更げな表情を見せた。

後半にも4点を追加。圧勝で兵庫予選突破を決め、次なる舞台、関西予選への出場権を手に入れた。

古巣相手にゴールを挙げ喜ぶP吉田。(6月8日・北神戸田園スポーツアリーナで撮影＝深江友樹)

安井奮闘で勝利も… 伝統の一戦、救援陣崩壊

第35回 神戸京都市戦

最優秀選手賞に輝いたエース安井。(6月14日・六甲台グラウンドで撮影＝濱田直毅)

硬式野球神京戦が6月14日に行われ、神戸大は10―9で京大の暴投によるサヨナラ勝利を収めた。最優秀選手賞を獲得した先発の安井(経営・4年)は6回を3失点にまとめたが、救援陣が総崩れし一時は5点差を追いつかれる展開。事実上の関西国公立大ナンバー1を決める試合であっただけに、勝利という結果が残ったのは唯一の救いだ。【仲田一平】

古巣相手にゴールを挙げ喜ぶP吉田。(6月8日・北神戸田園スポーツアリーナで撮影＝深江友樹)